



亀戸中だより

“笑顔と本気で真剣な姿”のある学校

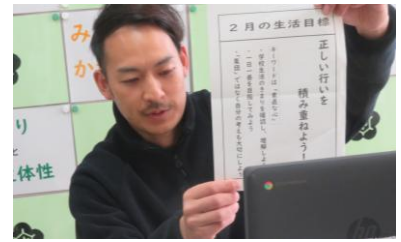
本校教育目標：「思いやりの心を持ち、主体的に行動できる人間を育成す」
「探究」「敬愛」「挑戦」



令和8年2月18日発行
江東区立亀戸中学校
<https://kameido-chu.koto.ed.jp/>
発行者 校長 三浦 秀樹

良い行いを積み重ねる * 2月2日全校朝礼より 生活指導主任 山本 拓

この前の金曜日に、江東区にある計23校の生活指導主任が集まる会議に参加してきました。そこで話題になったのは、放課後のSNSの使い方や、学校でのクロームブックの使い方についてです。SNSの問題については、学校内だけでなく、違う学校の生徒との問題に発展しているケースもあります。使い方を間違えてしまえば、他人をひどく傷つけてしまう可能性があります。そして、最近いじめの動画に関して世間的に大きく話題になっていることもあります。他人を傷つけるだけでなく、他人を傷つけた自分の行いが必ず最後は自分に返ってくるような世の中になっています。本当に恐ろしい結末を迎えます。一番身近なもので言えば、ラインなどのメッセージ、そして画像や動画を投稿するなどのSNSも必ずよく考えたうえで使うようにしましょう。「軽はずみ」や「ノリと勢い」そんなことでは済まないような失敗が中学生の間ではたくさん起きています。この話が理解できない人は、自分の携帯電話を持つべきではないです。自分自身で振り返ってみてください。



クロームブックに関しては、東京都や江東区で決められている具体的なルールがあります。確実に覚えて必ず実践してください。「トイレや更衣室で使用しないこと、持ち込まないこと」また、「許可なく他人の写真や動画を撮影しないこと」です。これらのルールが守られず、大きなトラブルが生まれている現状があります。絶対に守ってください。そして、「学習に関係のないことに使用しないこと」も守ってください。

昨日から2月がスタートしましたが、生活目標は「正しい行いを積み重ねよう！」に設定しました。理由は、今年度の終わりが見えてきたからです。もう一度、学校生活のきまりを理解して、正しい行いをしてください。中学校生活を「入学→卒業」で考えると、「緊張感→慣れ」というように変化があると思います。慣れることで充実した学校生活になりますが、「間違った慣れ」、「悪い慣れ」があります。緊張感があって一生懸命取り組んでいたことが、段々と「この程度でいいや」となってしまったり、学校生活のきまりについて、守らなかったとしても「大して怒られないからいいや」と思ったり、「バレなければいいや」と思うようになってしまったり、それは完全に「悪い慣れ」です。「悪い慣れ」が染み付くと、自分の行動を決める基準が、「先生に怒られるか怒られないか」「他の人もしているから」とかになっていく人が多いんじゃないかと思います。そのような考えはどんどん自分を悪くします。そうではなくて、自分自身の判断で「正しい行い」をしましょう。3年生は、どの学年よりも亀戸中学校のきまりを守った姿で卒業しないといけません。なぜなら3年もこの学校で過ごしたからです。2年生ももうすぐ3年になります。「悪い慣れ」は大丈夫ですか？気をつけてください。1年生も今の気持ちを忘れずに、もっと亀中生らしくなっていく必要があります。

最近の学校生活で「悪い慣れ」を感じるのは、「クロームブック」の使い方、「休み時間の過ごし方」、「登下校の時間や、授業前の着席」です。そして、他人との関わり方に関する「悪い慣れ」も心配です。直接嫌と言ってこないから大丈夫という基準で誰かを「いじったり、ちょっかいをかけたり」していませんか？他の人も一緒だからという基準でやっていませんか？間違った行動に気がつけなくなると、段々と取り返しのつかない悪い自分になってしまうことがあります。だからこそ、「正しい行い」を「積み重ねる」という2月の目標にしました。想いを受け取ってほしいと思います。3月はまとめの1ヶ月、その前の2月。今年の学年をどのように終えるか「勝負の2月です」頑張りましょう。